

## 千曲川河川事務所へ要望を行いました。



令和6年3月6日

(一社)長野県砂利砕石業協会と長野県砂利砕石事業協同組合連合会の合同による、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所への要望会が行われ、松田文治会長から中根事務所長へ要望書を提出しました。

北信・中信地域では昭和50年代に千曲川の河川砂利採取規制が行われ、以降水田等の耕地の下に原石を求めて砂利を生産してきましたが、水田等の適地が減り原石の確保に奔走してきました。令和3年にスタートした千曲川の第16次規制計画では、認可予定量が前計画に比べ年間約1.5倍となる約160万立米が採取可能とされたことで、一定の水準で原石確保が見込まれることとなりました。

中根所長からは、現在、国等で進めている国土強靱化のための5か年加速化対策等様々な公共事業を着実に推進するために、骨材の安定的供給が重要であると挨拶をいただきました。

